

職員のデジタルリテラシー向上に係る取組の実施について

1 要旨・目的

行政におけるDXの推進にあたっては、各職員がDXを自分事として捉えるとともに、各政策分野においてデジタル技術を積極的に活用することが求められていることから、次のとおり、職員のデジタルリテラシー向上に係る取組を開始した。

2 現状・背景

令和3年度から実施している「みんなのDX研修」を通じて、県職員においても、DXに取り組む必要性や実践するための基本的な考え方の習得を図っているが、それらに加えて、デジタル技術を利活用する上で求められる知識も習得していく必要がある。

3 概要

(1) 対象者

県職員（知事部局、上下水道部、病院事業局、議会事務局、行政委員会、教育委員会、警察本部）

(2) 実施内容

デジタル技術を利活用する上で求められる知識が学べるよう、ITパスポート(※)レベルの動画を市内LAN上で配信（1本あたり10分～20分程度）

※ITパスポート：ITを利活用するすべての社会人が備えるべき、ITに関する基礎的な知識が証明できる国家試験

【ITパスポートの分野ごとの動画本数等】

分 野	動画本数・時間
ストラテジ系（経営戦略、システム戦略等）	15本・220分
マネジメント系（プロジェクトマネジメント等）	5本・69分
テクノロジー系（システム、セキュリティ等）	21本・329分
合 計	41本・618分

(3) 開始時期

令和5年8月

(4) 予算（単県）

5,500千円

4 その他

- 一部の動画について、職員が職位に応じて受講する一般研修のプログラムに位置付けている。
- 今後、市町職員のデジタルリテラシー向上のため、各市町での活用について調整を図っていく。